

あなたの可能性が
まちの未来を拓く



蕨市民公園



蕨駅前通り



宿場まつり



旧中山道



わらびりんご

令和5年度

蕨市職員採用試験案内

保育士

一次試験日：9月17日(日)
申込受付：7月11日(火)
～8月1日(火)

保健師

❖ 蕨市職員は生涯をかけるに値する仕事です



人口減少・少子高齢社会のなかで、地方自治体において、暮らしやすく、個性を活かした魅力ある「選ばれる」まちづくりを進めていくことが、地域の持続可能性やまちの発展にとって大きな鍵となっています。

蕨市は全国に先駆けて「コミュニティ条例」を施行するなど、協働のまちづくりを進めてきた歴史があります。現在、市の最上位計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンに基づき、小さなまちの中にぎゅっと詰まった歴史や文化、豊かなコミュニティ、そして利便性の高さをあわせ持つ蕨の魅力や強みを最大限に活かし、安全・安心でだれもが「わがまち」と実感できる日本一住みやすいまち、「日本一のコンパクトシティ蕨」の実現に向けて、市長以下職員が一丸となって、挑戦しています。

蕨市では、この間、人口の増加傾向が続き、子育て世帯の8割が「子育てしやすい」と答えるなど、「選ばれる」まちとして発展を続けていますが、今年も、市民サービスの拠点である新庁舎が秋に開庁し、蕨の「顔」である蕨駅西口再開発事業が着工するなど、今、蕨はまさに飛躍の時を迎えています。蕨市職員としての仕事は、苦勞もあると思いますが、市民のために働ける喜びや楽しさ、地域とともに成長できる自治体職員としての醍醐味はどこにも負けないと自負しています。私たちは、この夢のある事業に共に携わっていく仲間として、市民の笑顔を力に換え、困難にも挑戦できる、やる気あふれる皆さんをお待ちしています。

蕨市長 頼 高 英 雄

❖ 蕨市が求める人材とは 「蕨市のため、市民のために自ら考え、 持てる知恵と力を発揮できる職員」

地方自治を取り巻く環境が大きく転換する中、市民一人ひとりが、幸せに暮らすことができる豊かな地域を市民と協働して創造していくため、市民のためにまちのために、知恵と力を発揮し、温かい心で献身的に尽くす職員が求められています。

■ やる気と明るさ

明るく豊かな人間性を持ち、市民のために常に問題意識を持って新しい課題や困難な課題に果敢に自らチャレンジし、とことん汗を流せる人

■ 市民とともに

市民と協働して、優れた「地域力」を発揮したまちづくりに取り組むため、「わらび」を愛し、市民の立場になって感じ、ともに考え、ともに行動できる人

■ 経営感覚

市の将来を見据え、都市を経営するという視点に立ちながら、高いコスト意識を有し、限られた財源を生かすため創意工夫を発揮して、効率的かつ効果的な仕事のできる人



たんぽぽ保育園

横山 可奈 平成30年度入庁

保健センター

山田 彩奈 令和元年度入庁

○現在の業務内容

3歳児クラスの担任、未就学児の生活習慣の指導をはじめとする保育業務、保護者との連絡、園の各種行事の指導など

○現在の業務内容

がん検診をはじめとする各種検診(健診)業務、精神保健福祉関係の相談支援業務等の成人保健を中心とした業務、新型コロナワクチン業務など

○ある一日の流れ

8:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15
出勤	主活動 戸外遊び 室内遊び 製作 など	給食	午睡	昼休憩		おやつ	主活動 室内遊び 製作 など 降園 準備	退勤

○ある一日の流れ

8:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:15
出勤	成人 相談		昼休憩	訪問		認定 記録 調査	がん 検診等 事務	退勤

○志望者へ一言!

保育士は、命を預かる大変な仕事ですが、その分、他の仕事では味わうことが出来ない様々なやりがいを感じることができる仕事です。この蔽市で一緒に明るく楽しい保育をしていきましょう。



○志望者へ一言!

とても賑やかな職場で、年齢層も幅広く、家族のような温かな雰囲気の中で日々業務にあたる事が出来ています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



Q. 職場の雰囲気はhowですか?

A. 落ち着いて、安心して保育が出来る雰囲気があります。

Q. 仕事にやりがいを感じる時は?

A. 相談や支援を通じて市民の「元気な姿」が見られた時です。

私が入庁して初めて保育現場に入ったときは、分からないことが多く、少し戸惑ってしまいました。ただ、経験豊富な園長先生や先輩保育士が質問しやすい雰囲気を作ってくれていて、困ったときにはいつでも相談に乗ってくれるため、保育業務に慣れることが出来ました。また、職場研修が充実しており、保育士による意見交換が非常に活発で、自身も成長できる職場であると感じます。様々な個性を持った園児がいる中でも、落ち着いて、安心して保育が出来る環境だと感じます。

私が精神疾患をお持ちの方の就労支援を担当した際に「希望の職種に就くためにはどうすべきか」という課題について、一緒に考え、目標を立て、少しずつ達成していった結果、ご本人が希望している職業に就くことが出来ました。この方が就職した後に、他の手続を行うため、保健センターの窓口にいちゃった際に「ありがとう。おかげで楽しく働けてるよ。」と元気な姿で近況を報告していただいた時には、大きな喜びとやりがいを感じました。

わらび の じまん

蕨市は、古くは中山道の宿場町、機織物のまちとして栄え、戦後は首都圏の住宅都市として発展してきました。

都心にほど近いまちでありながら、住民の間から全国に先駆けて「成年式」が生まれた歴史を持ち、「宿場まつり」をはじめ、住民参加型のイベントが盛んであるなど、人と人との触れ合いや郷土愛、コミュニティの親密さが自慢のまちです。

ここでは、まちは小さくても、住む人の心は大きく温かい、蕨市の魅力の一部をご紹介します。このまちの歴史をつなぎ、未来を拓いていくのは、君たちの挑戦する気持ちと無限の可能性です。

中山道の 宿場町



蕨は古くから、江戸と京都を結ぶ中山道の宿場町として栄え、にぎわいを見せていました。中山道では地域住民と市の協力の下、現在も当時を偲ばせる街並みが整備されています。また、毎年11月3日にはこうしたまちの歴史と誇りを語り継ごうと「中仙道武州蕨宿場まつり」が開かれ、市内外から集まった多くの人でにぎわいます。

機織りの まち蕨



江戸末期から戦前まで蕨は全国でも有名な綿織物業が盛んなまちでした。現在では当時生産されていた双子織を後世に語り継ぐため、地域資源として位置付け、まちぐるみで蕨ブランドの創出に取り組んでいます。毎年8月には、織物業の発展を願うお参りや蕨駅前通りでは「わらび機まつり」が開かれ、多くの七夕飾りが並ぶ盛大な催しとなっています。



成人式 発祥の地

成人式が蕨で始まったことをご存知でしょうか。終戦直後の混乱と虚脱感が大きかった昭和21年、当時の蕨町青年団が「成年式」を開催し、次代を担う新成人を招いて激励し、その前途を祝しました。昭和23年7月、国民の祝日として「成人の日」が制定されましたが、当時の青年たちの思いを今に繋ごうと、蕨では今でも「成年式」として開催しています。



日本一 小さな市

蕨市は面積5.11平方キロメートル。富士五湖の1つ本栖湖とほぼ同じ面積に約7万5千人が暮らす、日本で最も小さな市で、人口密度も日本一です。その特性を活かして全国に先駆けてコミュニティのまちづくりが進められた蕨市は、住民同士の交流が深く、様々な地域活動が盛んです。こうした市民の力と行政が一体となり、蕨のまちづくりは進められています。

発行：蕨市職員試験委員会

問合せ：埼玉県蕨市総務部人事課

(蕨市中央5-14-15・電話 048-433-7746)

ホームページ：<https://www.city.warabi.saitama.jp>